



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信 **週刊**
 2012年5月25日号 No.243

'みなさんをいつもまんやかに、'

区議団控室：5803-1317 (直通)

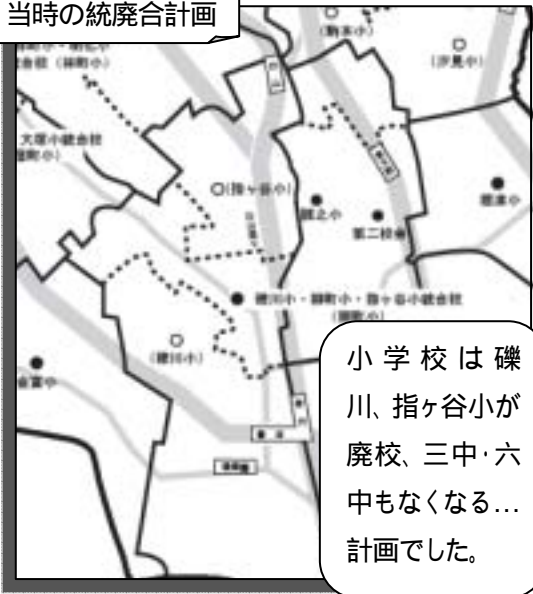
萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7

・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

当時の統廃合計画



小学校は礒川、指ヶ谷小が廃校、三中・六中もなくなる... 計画でした。

区立中学校における学校規模、学校配置について

**「年少人口の増加現象が続く当面の間は一〇校体制を維持する」
 強引な『統廃合計画』(17年)の誤りが、証明されました**

今月の教育委員会で「区立中学校における学校規模・学校配置について」が確認されました。6年前、PTA、町会、広い区民をまきこんで大きな運動になり、撤回させたのが区立小中学校の「統廃合計画」でした。当時私もPTAとしてこの運動にかかわってきただけに、撤回という結果は感無量でした。しかし、見直された「将来ビジョン」にも火種がありました。それは、中学校は三中・八中・文林中が小規模になり、「魅力ある学校づくりの支援をおこない、それでも現在の状況から変化がみられなかった場合には区内全域において、統合の検討に入る」と明記していました。「ビジョン」策定から3年が経った今年、教育委員会の出した結論は、今後7〜12年後の中学校入学者の増加が著しい35人学級が中学校まで拡大される可能性がある。将来推計の年少人口は平成37年以降の減少が想定されるので人口の推移を見極める必要がある。「区内全域における統合の検討は、現時点においては行わないことが妥当である」としました。

少人数学級の実施、トイレや冷房など教育環境の整備を今こそ実施し、平等で公平な公教育を拡充するときです。



文京三中

小石川4丁目都有地に障害者施設が建設に

障害をもった方々の生活介護や就労移行支援、そして共同生活をするグループホームの建設が小石川郵便局横(都有地)に予定され、先日、説明会が行われました。

「障害のある人もない人も共に社会で生活する」ノーマライゼーションの考え方です。しかし文京区はこうした障害者の施設、とくにグループホームは他区と比べてもかなり少ないのが現状です。

「障害者があたりまえに暮らせる権利を保障する、...近隣住民の協力を得ながら、よい施設となることを期待したいものです。

お困りのことがありましたら、上記の電話までお気軽にご連絡ください。萬立

まんだち日誌

17日 お世話になった西片のIさんの葬儀。あまりに突然でした。もう一度いろいろ話したかったです。

18日 午後 衆院予定候補の桑名文彦さんのポスターの掲示をお願いして町を歩きました。風に飛ばされないようシツカリと貼って。

19日 午前9時。三中の運動会へ。昨年と比べて大勢の新一年生のため、俄然にぎやかで元気な運動会になりました。組体操も見ましたが、残念ながら他の予定に。午後、住民懇談会。夜、事務所のある町会の総会へ。

みなさん民謡がお上手です。

20日 午前、Eさんたちの応援を受けて宣伝、訪問活動。27か所で宣伝、「赤旗日曜版」読者も増えました。